

2025年8月13日

各位

株式会社フジテレビジョン

サステナビリティ経営委員会 第3回外部アドバイザリーボードの開催について

当社は8月8日、サステナビリティ経営委員会(以下、「委員会」)の第3回外部アドバイザリーボードを開催いたしましたので、お知らせいたします。

1. 8月8日開催の第3回外部アドバイザリーボードの内容

2025年8月1日に開催された第4回委員会¹及び7月下旬以降に開催された「人権」、「人的資本経営」、「リブランディング」、「気候変動・環境」の各委員会直下のプロジェクトにおける議論の内容を当社から説明した上で、アドバイザーとの間で、「人権」及び「人的資本経営」の各プロジェクトの進め方や、両プロジェクトに関わるDE&Iの実現に向けた取り組みについて議論を行いました。

人権プロジェクトについては、アドバイザーからマイノリティの当事者団体との対話を通じて気づきを得ることの重要性が強調され、今後複数の団体との対話や情報発信を検討していくことになりました。人的資本経営プロジェクトについては、経営戦略と連動した人材戦略の検討等と合わせ、各部署が抱える人材面での課題を吸い上げて対応策を検討し、提案していく方向性を確認しました。また、DE&Iに関する取り組みについて、WEPs(女性のエンパワーメント原則)を踏まえ、ジェンダー平等を組織運営や事業活動の各領域において進めていくための学習・実践プログラム等について議論を行いました。

各アドバイザーからは、以下のとおりコメントがありました。

大崎麻子氏

「経営層には、女性の人権侵害を容認する企業風土とガバナンスの脆弱性が経営危機につながったという事実を再認識してほしい。女性の課題に優先的に取り組んだり、組織内に在するジェンダーギャップの解消に努めたりすることは、『女性優遇』ではなく、構造的な不平等を是正し、全ての人が公平に挑戦できる環境を構築するための第一歩である。次世代の社員のためにフェアな環境を整え、人的資本の強化に繋げていくのは、経営層の責任である」

加藤茂博氏

「社長は人的資本経営に乗り出すと宣言しているが、実際に改革案を実践するためには、

¹ 第4回委員会の概要については、2025年8月1日付「第4回『サステナビリティ経営委員会』の開催について」をご参照ください。

単なる経営改善を超えたコミットメントが必要だ。そのためには経営層の、これを本気でやりとげるという覚悟が伝わってきてほしい。『なぜ海に漕ぎ出して新しい冒険をする必要があるのか、こちらの方向に行かないと未来はないのだ』という物語を語り、仲間をやる気にさせるメッセージを発信していってほしい。社員も上からの指示を待つだけでなく、自分たちが当事者として変革の機会を活かし、やりたいことを積極的に提案していくべきだ」

佐藤暁子氏

「フジテレビが番組を通じて何を発信していくのか、その根底に人権という概念がしっかりと共有できていることを期待したい。誰しもが楽しめる、誰しもがポジティブな気持ちになり、また人権問題に対する学びも深まる番組を作ることがスポンサーを含めたステークホルダーへの大きなメッセージとなる。気候変動・環境問題については番組でも取り上げているが、人権に結び付く問題であることを強く意識して、プロジェクトを進めていただけれどと思う」

2. 今後に向けて

第3回外部アドバイザリーボードで得た助言等を踏まえ、今後の委員会及び各プロジェクトにおいて検討を行い、当社のサステナビリティ経営の実現に向けて、実効的な施策を速やかに実行してまいります。外部アドバイザリーボードは今後も継続的に開催し、外部有識者から得た助言等を、フジテレビの再生・改革に向けた各種施策に反映していく方針です。

以上